

U16(中学生)陸上競技選手権大会 競技注意事項

- 1 本大会は、2025年度 日本陸上競技連盟競技規則と大会要項によって運営する。第162条の5については適応しない。不正出発をした選手は、そのレースは失格となる。
- 2 800m以上のトラック競技はすべてタイム決勝とする。なお、トラック競技において同タイムの場合は千分の一までを確認し、それでも同じ場合は同順位とする。
- 3 本競技場は全天候型のため、競技に使用するスパイクピンは全天候型のもの9mm以下のものを使用すること。(走高跳は12mm以下とする。) 競技場シューズの扱いについて規定外の競技用シューズで出場した場合は、審判長の権限により出場することができない。または、失格とする。競技終了後に発覚した場合は、記録を無効とする。
- 4 ハードルの高さおよびインターバル、投擲の重さは次のとおりとする。
男子110mH 高さ 0.914m インターバル 9.14m
女子100mH 高さ 0.762m インターバル 8.00m
男子砲丸投 (5.000kg) 女子砲丸投 (2.721kg) 男子円盤投 (1.500kg) 女子円盤投 (1.000kg)
- 5 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。(審判長の判断で変更可能とする)
共通男子走高跳 1m50-55-60-65-70-73…以後3cmずつ(練習は1m50と1m60)
共通女子走高跳 1m30-35-40-45-48…以後3cmずつ(練習は1m30と40)
共通男子棒高跳 男女同時に行うため、始まりの高さは当日決定する。
奨励女子棒高跳 (10cmずつ上げることとする)
- 6 ①走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投の試技は3回までとし、上位8名はさらに3回の試技を行う。
②三段跳の踏切板を男子・女子ともに9mとする。
- 7 競技者は、学校名及びクラブチームのアスリートビブス(ナンバーカード)を胸背部に正しく付けること。(走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳の選手は、胸部・背部のいずれか一方に着ければよい。)アスリートビブスのない競技者は出場できない。
トラック競技の腰ナンバー標識は、招集所で受け取りパンツの右側やや後方に着ける。競技終了後はフィニッシュ地点で役員に返却すること。共通男子3000m(胸背部)、男女1500mでは(胸部)別のアスリートビブスを使用する。競技終了後はフィニッシュ地点で役員に返却すること。
- 8 競技のレーン順・試技順はプログラムに記載されている順とする。
- 9 招集について
①招集は、すべて第4コーナーゲート付近で行う。
②招集開始時刻・完了時刻は、プログラムに記載されている通りとする。
③代理人による招集の確認は原則として認めない。ただし、2種目を同時に出場する競技者はあらかじめその旨を本人または代理人が該当の招集開始時刻までに、所定の用紙(同時二種目出場届)に記入し競技者係に提出すること。なお、用紙は「受付・招集所」に用意する。
④招集を受けていない競技者は欠場とみなして処理する。招集時刻に遅れた競技者は出場できない。また、招集所には点呼を受ける競技者以外入らないこと。
⑤競技を欠場する場合、欠場届(陸協指定の用紙)を競技者係に提出すること。用紙は「受付」に用意する。
- 10 トラック競技のフィニッシュ後は、指示されたゲートより退場すること。
- 11 補助競技場には学校からの練習用具の持ち込みはできない。また、ハードルは会場に設置してあるものを共用すること。
- 12 記録の発表は掲示板・広島陸上競技協会 SNSにて掲示・発表する。(役員の数によっては掲示板のみとする場合がある。)
- 13 表彰は、学年種目・共通種目の8位までの入賞者に表彰状を、1位～3位にメダルを授与するので、順位が確定したらすみやかに正面ロビーに集合すること。奨励種目においては、1位～8位に表彰状を授与する。

U16(中学生)陸上競技選手権大会 連絡事項

1 団体受付及び役員受付

- ①受付は、原則7:30~8:00とし引率者は必ず団体受付をしてプログラムを受け取ること。同時に競技役員の受付をすませること。学校受付及び役員受付は、メインスタジアム入口正面ロビーで行う。なお、受付は、8:00以降も随時行いが、12:00までとする。
- ②役員及び引率者の打ち合わせ会を8:30より競技運営室で行うため役員及び引率者は時間厳守で集合すること。

2 競技役員について

- ①競技役員について、別紙競技役員一覧表により運営するが欠席等により役員が不足するようなことがあれば引率者に競技役員をお願いすることもあるため、服装等については必ず用意しておくこと。
- ②競技役員は必ず役員受付を済ませること。なお競技役員の服装に関しては、男性は白の半袖カッターシャツかポロシャツにグレーのズボン、女性は白のブラウスカポロシャツにグレーか紺の服装を着用し、ジャージは必ず避けること。
- ③競技役員は、任務に徹し選手に対する助言・助力を行わないようにして公正中立な立場で審判業務にあたること。

3 場所取りについて

- ①場所を取ることができるがスタンド等も日陰の場所がせまいので、各団体とも必要最小限のスペースで場所を取ること。(使用した周辺をきれいに維持すること。)※両サイドのスタンド、バックスタンドの場所取りはできない。観戦や応援も前方で行うこと。

4 駐車場について

- ①競技役員が砂利の駐車場を利用し、保護者の駐車や送迎はアスファルトの駐車場を利用すること。
- ②バスやマイクロバスで送迎される参加団体は、砂利の駐車場を利用することも可能だが接触事故等に十分気を付けて停めること。
- ③駐車場での事故等については、大会関係者は一切の責任を負わない。

5 練習会場の使用について

- ①練習会場は、補助競技場を使用すること。なお、27日(土)の8:45までと28日(日)の8:30まではメインスタジアム内での練習も可能。ただし、練習開始は7:45からとする。(準備も平行で行っております。ケガには十分注意すること。)

※競技会場・各ピットの準備も同時に行っていますので、安全には十分に気をつけること。

<メインスタジアム、ホームストレート朝の競技開始前の練習区分>

○1~2レーン → 中長距離優先レーン ○3~6レーン → 短距離優先レーン ○7~8レーン → ハードル優先レーン
(110mH 8レーン, 100mH 7レーン)

<第3コーナーから第4コーナー曲走路内の練習区分>

○投てき種目のメディシンボール投げ及び砲丸ピットでの練習ができる。両日とも8:00~8:30(30分間)とする。

<棒高跳ピット練習区分>

○棒高跳は準備が整い次第ピットでの練習ができる。

<補助競技場の練習区分> ※投てき練習はできない。

○メインスタジアム同様とする。

○補助競技場では、練習用具持ち込みでの練習については禁止とする。

6 競技会場の使用について

- ①競技者は、それぞれ当日に招集所で指示を受けた経路に沿ってスタート地点や競技ピットに向かい、競技終了後も指示された経路・ゲートより退場すること。正面スタンド前には通らないこと。
- ②競技観戦者は、競技者の集中が確保できるようにスタート時の合図が行われた場合は静粛を心掛けること。
- ③短距離種目については、選手同士の接触事故防止のためゴール後はコースに沿ってカーブするよう事前に指導をすること。
- ④本競技場は、全天候型なので競技に使用するスパイクは全天候型のものとし、9mm以下を使用すること。(ただし走高跳は、12mm以下とする)

7 その他

- ①選手によるスマートフォン等を利用した撮影はできない。※競技場所への持ち込みは失格となる場合がある。
※保護者が選手に渡しての撮影も遠慮してください。 ※SNS への投稿は禁止とする。投稿した場合のトラブルは、大会関係者は対応しない。
- ②大会当日、広島陸協よりトレーナーを派遣していただいているがその利用は競技者のみとする。
(使用する場合は、引率者同伴とし、対応は応急手当のみとする)
- ③大会当日、招集所は選手のみとし、付き添い(引率者・顧問・保護者等)はご遠慮ください。
- ④盗撮と疑われる行為がありましたら本部までお知らせください。場合によっては関係機関等とも連携をする。